

## 平成 30 年度第 1 回「生徒による授業評価」集計結果について(ご報告)

晩秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日ごろより、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、神奈川県では例年、授業改善の取組みに資するものとして年に 2 回「生徒による授業評価」を実施しておりますが、今年度の本校における第 1 回（前期）の実施結果がまとまりましたので、次のとおりご報告申し上げます。

## 1 アンケート設問

県の設定項目		設問	本校の調査項目(共通小項目)
授業内容	授業の準備 教材の工夫	1	授業が工夫されるなどして、取り組みやすい授業である。
	授業の充実感	2	私は授業で学習した内容がだいたい理解できている。
	授業の進め方	3	生徒の理解度に合わせて授業が進められている。
指導方法	生徒主体の 授業の工夫	4	授業中、生徒同士で話し合う機会や意見などを発表する機会がある。 (生徒が考えた内容を発言や文章等で表現する機会がある。また、積極的に取り組める課題があったり、体験を通して学ぶ機会がある。)
	説明の分かり易さ	5	説明の仕方がていねいで、わかりやすい授業である。
	生徒への接し方	6	生徒一人ひとりに目を配った、きめ細かい指導がなされている。
自分自身の 取組状況	学習への取組	7	私は授業でわからないところがあったら、先生や友達に聞いたり、自分で調べたりするなどしてわかろうとする努力をしている。
	態度・姿勢	8	私は授業に対して意欲的に取り組んでいる。

アンケートの設問は、県の共通の設定項目である上記の 8 項目について問が設定されています。その各項目に対して、「4 かなり当てはまる」「3 ほぼ当てはまる」「2 あまり当てはまらない」「1 ほとんど当てはまらない」の 4 段階で評価し、回答します。

## 2 調査対象者数

実施したアンケートの教科毎の対象者数は次のとおりです。

教科	国語	地歴	公民	数学	理科	体育	芸術	外国語	家庭	情報	総合
人数(人)	815	557	332	575	704	939	543	778	439	387	638

## 3 調査結果についての分析(数値は全体平均)

全ての項目で高い肯定的評価を得ています。特に、設問 1 は 92%、設問 5、8 は 90% という回答が寄せられており、「生徒が取り組みやすいように工夫され、説明がていねいでわかりやすい授業」が行われているという評価を得ることができました。なお、「生徒主体の授業の工夫」(設問 4) は肯定的評価が昨年比 3 ポイント増加したものの 81% に留まっており、生徒一人ひとりが主体的に取り組み、充実感の得られる授業をより一層実践する必要があると考えます。今後、これまで以上に授業改善に努めてまいりたいと思います。

## 4 今後の授業改善に向けて

今年、本校は「ICT利活用授業研究推進校」指定事業の 3 年目となりました。インターネットを利用できる環境が整備され、PC 等を活用する授業により、生徒の興味・関心を高める研究を各教科で進めていますが、今回の授業評価の結果を受け、より一層生徒の主体性を意識した授業展開から学習内容の定着につながるように工夫を重ねてまいります。

問合せ先  
副校長 小林  
電話 045(953)1005

## 5 集計結果

教科	評価	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8
国語	4	52%	40%	47%	42%	54%	48%	40%	49%
	3	45%	50%	47%	42%	41%	46%	46%	44%
	2	3%	8%	5%	14%	4%	5%	12%	6%
	1	0%	1%	0%	2%	0%	1%	3%	1%
歴史	4	45%	31%	37%	30%	43%	35%	36%	40%
	3	46%	47%	48%	45%	48%	52%	43%	46%
	2	7%	19%	12%	19%	8%	11%	16%	10%
	1	1%	3%	3%	6%	2%	3%	6%	3%
公民	4	53%	42%	47%	39%	52%	42%	41%	50%
	3	41%	44%	43%	42%	40%	45%	45%	41%
	2	5%	12%	9%	15%	7%	11%	12%	9%
	1	1%	2%	1%	5%	1%	1%	2%	0%
数学	4	39%	34%	38%	38%	41%	37%	36%	39%
	3	47%	47%	46%	42%	44%	45%	44%	45%
	2	10%	15%	12%	13%	10%	13%	13%	13%
	1	4%	4%	5%	6%	6%	5%	6%	3%
理科	4	46%	32%	38%	35%	46%	38%	32%	44%
	3	45%	48%	48%	43%	43%	45%	46%	41%
	2	8%	16%	11%	18%	10%	15%	17%	12%
	1	1%	4%	2%	5%	2%	3%	6%	2%
保健体育	4	49%	47%	47%	43%	49%	47%	44%	54%
	3	44%	45%	43%	41%	41%	41%	41%	38%
	2	6%	7%	8%	12%	8%	10%	12%	6%
	1	1%	1%	2%	4%	1%	2%	3%	2%
芸術	4	57%	52%	54%	47%	56%	55%	51%	60%
	3	37%	40%	38%	40%	34%	35%	39%	34%
	2	6%	8%	7%	10%	8%	9%	8%	5%
	1	1%	0%	2%	3%	2%	2%	2%	1%
外国語	4	45%	33%	39%	47%	45%	41%	38%	43%
	3	42%	47%	46%	38%	39%	42%	43%	42%
	2	10%	16%	11%	11%	12%	13%	15%	12%
	1	3%	4%	4%	5%	4%	4%	4%	3%
家庭	4	67%	55%	62%	54%	67%	62%	50%	62%
	3	31%	38%	34%	35%	31%	33%	38%	33%
	2	2%	7%	4%	10%	2%	4%	9%	4%
	1	1%	0%	0%	1%	0%	1%	3%	1%
情報	4	51%	39%	42%	33%	47%	49%	48%	55%
	3	40%	48%	43%	40%	43%	38%	38%	35%
	2	7%	12%	12%	20%	8%	11%	12%	8%
	1	2%	2%	3%	8%	3%	2%	3%	2%
総合	4	42%	42%	43%	37%	45%	45%	41%	45%
	3	51%	51%	48%	46%	46%	44%	45%	47%
	2	6%	5%	8%	13%	7%	9%	11%	6%
	1	2%	2%	2%	4%	2%	3%	3%	1%
全体平均	4	49%	40%	44%	40%	49%	45%	41%	49%
	3	43%	46%	44%	41%	41%	43%	43%	41%
	2	6%	11%	9%	14%	8%	10%	13%	8%
	1	2%	2%	2%	4%	2%	2%	4%	2%

6 教科での分析と改善に向けて

教科	授業評価の結果から読み取れる課題など	今後の授業改善に向けて
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 8割強の生徒が、全て3、4を選択していることから、概ね授業の目的が達成できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1から2割の間で1、2を選択している生徒がいる。どの講座でも、取り組み不十分な生徒、読解能力が低い生徒がいる。集中力を持たせ、授業に取り組む、基礎国語力の定着等、基本的な授業態度の指導等今後検討する必要がある。</li> </ul>
地理・歴史・公民	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほぼすべての科目で、評価3、4が8割を超える結果となっている。特に選択科目では、全体的に評価4が評価3を上回り、高い評価を受けている。</li> <li>○ 必修科目である歴史のA科目、現代社会では、評価3が評価4を上回る設問がいくつかある。設問4、6で評価4が20%台になっているため、生徒が主体的に授業に参加する課題を取り入れ、生徒一人ひとりに配慮した授業を組み立てる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒が主体的に学ぶための課題設定や、生徒一人ひとりに配慮するために適した教材を教科内で共有していく。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほとんどの科目で評価4、3が8割以上を占めており、おおむね良い評価を得ているが、今年度から開講しているステップアップ数学では評価4、3が7割台とやや下がっていることが分かる。前期の様子や取り扱う題材、教材などを共有し、後期、来年に活かしていく必要がある。</li> <li>○ 設問4の生徒主体の項目が低くなっている科目があり、生徒に主体的に活動させる工夫や、一つひとつの学びも主体的な活動であるとの認識を持たせる工夫も必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新しい科目については前期の生徒の取組状況や取り扱う題材、教材などを教科内で共有し、後期に向けて改善をはかる必要がある。</li> <li>○ 单元ごとに生徒に目標を意識させ、その達成に向けた表現活動や対話的な学びを取り入れるなど、主体的な活動の工夫も引き続き必要であると考える。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教科で教材を工夫し、生徒の理解度に合わせた授業を行っているが、生徒同士で話し合ったり発表したりする活動が少ないため、生徒主体の活動を今後も取り入れていくことが必要である。</li> <li>○ 授業での生徒の取り組みに対する意識に改善の余地があるので、宿題等で学習習慣をつけるようにしていく努力が必要であると感じた。</li> <li>○ 導入をしっかりと行い、授業での核心の部分で生徒の注目をしっかりと集められるかが重要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業内容を理解できている生徒の割合が他の設問よりも良くないので、工夫が必要だと感じた。</li> <li>○ 個人での取り組みは多く行っているが、グループワークや発表の場をなかなか設けられていないので、積極的に行う。</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3年次体育の評価が全体的に高く授業の満足度が高い。それに比べて2年次は1年次よりも低くなっている。例年、1年次よりも2年次、2年次よりも3年次と数値が上がっていくのだが、今回2年次が低くなっている原因は不明である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 説明を分かりやすくしたり、生徒への接し方に気を配ったりはしているが、今後はそれだけではなく、話を聞く態度を育てるように努める。</li> </ul>
芸術	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「実用」の書設問4において、「1. ほとんど当てはまらない」が14%あり、他の科目と比較して、とびぬけている。</li> <li>○ 美術系の授業において、例年と比較して1～2の割合が多い印象がある。</li> <li>○ 音楽Ⅰ～Ⅲにおける設問2～4（理解度、工夫）では、解答の「2. あまりあてはまらない」の割合が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上記1に対して、積極的に取り組める課題や、意見交換ができるように工夫していく。</li> <li>○ 上記2に対して、評価の値が高ければよい、というものでもないが、授業のねらいをより生徒に分かりやすくして、科目ごとの関連性や差異を明確にして指導していくように努力する。</li> <li>○ 一人ひとりの理解度を見ながら授業づくりを進めるよう努める。</li> </ul>

外国語	<p>○授業に対する理解度は概ね8割を超えており、生徒に合わせた授業が進められている。特に生徒主体の授業という観点では、その機会を設ける工夫を行っていることが高く意識されている。</p> <p>○選択科目で発展的な内容の科目については授業の取り組みやすさに困難を感じている生徒の割合が高い傾向がみられる。</p>	<p>○生徒主体の授業の工夫をこれからも継続し、さらに意欲的な取り組みとなるように、改善していきたい。そのために、引き続き、一人ひとりに目を配った指導をこころがけ、達成感のある課題を多く設けるなどして興味・関心をさらに引き出したい。</p>
家庭	<p>○授業内容や指導方法についてはおおむね3、4の回答が多く課題はみられないが、設問7、8の自分自身の取り組みへの回答が低いので、生徒の意欲や達成感を引き出すための工夫が必要であると感じられる。</p>	<p>○今後も引き続き、生徒の意欲や達成感を引き出すための工夫をしていく。</p>
情報	<p>○すべての設問に対して、昨年度より改善がみられる。教科全体では設問4以外については、「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」が80%以上に達しています。ただし、設問4については教科全体ではやや値が低くなる傾向にあるが、特に値が低い「社会と情報」においては、前期はスキルアップの要素が高いのでこのような結果になったと考えられる。</p> <p>○また、設問1で「工夫されて、取り組みやすい授業」という高い数値と比較すると、設問2の「内容がだいたい理解できている」という数値が低くなっている。</p>	<p>○パソコンの操作が苦手なだけでなく、パソコンを使って考えを表現することが苦手な生徒が少なくないことが原因と考えられる。「社会と情報」では、後期にパワーポイントを用いたプレゼンテーションの単元で資料作成・発表・相互評価を行うので、生徒が主体的に学べるよう支援していきたい。</p> <p>○苦手意識を持っている生徒への支援方法の工夫や思考力・表現力の向上を目指した題材の工夫を行っていきたい。</p>